



早稲田大学校内・會津八一記念博物館

會津八一とは耳慣れない人物でしょうが、明治14年8月1日生まれからなる命名
明治36年9月に早稲田大学文学科に入学、英文学を学び恩師は坪内逍遙、3ヶ月間
ラフカディオ・ハーン（小泉八雲）から英文学史民族的観察法を学び、後年の美術
史学研究に寄与する。後に、小泉八雲の三男、清の才能を見出す。

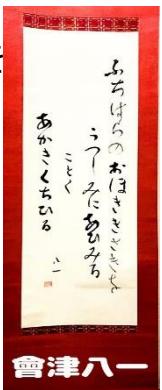


會津八一氏

大正15年、早稲田大学、文学部の講師として東洋美術史の講義
を始める。

中国の明器・鑑鏡・瓦磚（東洋レンガ）等古美術品を
購入し會津コレクションの基礎を作った。

今回は、《富岡コレクション展》書と文具
《東大寺献物帳》奥村秀雄氏書写
《企画展》リトグラフで巡る。を鑑賞します。



會津八一

《富岡コレクション展》

富岡重憲氏（1896~1979 日本重化学工業初代社長）

雨宮静軒 遊亀硯 1967年



山梨県・雨畠で産出される
石を使用「雨畠硯」という。
「雨端硯」は雨宮家の登録商標
です。雨宮静軒は11代目。



重要美術品・明時代
[五彩婦人図盤]古赤絵



白隱慧鶴1685~1768



織部竹耳水指
美濃 桃山時代

《東大寺献物帳》

東大寺献物帳とは、光明皇后が聖武天皇の77忌に国家の珍宝類を東大寺に奉獻した際の目録です。



東大寺献物帳(巻物)



東大寺献物帳

聖武天皇は仏教の力で国家の安泰を願い、国分寺・国分尼寺を諸国に造立(741年)。若草山麓の金鐘寺を包括するために造立されたのが、東大寺です。



聖武天皇遺愛の

象牙製碁石(模造)



正倉院宝物・木画箱



正倉院宝物木画模様雛形



木画仙人模様板



東大寺
八角灯籠拓本屏風

《リトグラフ》 石版画・版画技法の一つ



リトグラフの製版方法

1. 描画部にアラビアゴム水溶液を塗布。
2. マツヤニの粉末をかける。
3. 硝酸を加えたアラビアゴム水溶液を塗布。
4. 一晩おき、再びアラビア水溶液を塗布。乾燥後、灯油をかけ描画の脂肪分を拭き取る。
5. ラッカーを刷り込み、チントールを塗布。水を含ませたスポンジで拭き、アラビアゴムの被膜をとる。
6. 水を含ませたスポンジで、常に湿らせ描画部にインクをのせていく。
7. プレス機に石版画をのせ、紙を置き、刷る。

版画には、木版画・銅版画・石版画があり、使用する版画によって種類がわかれます。

會津八一記念博物館中央で大階段を飾る。

4.5mのつなぎ目の無い和紙に描かれた大作。 ↓



横山大観・下村観山による「明暗」直径4.5m



大隈重信庭園を眺めながら、学生食堂で昼食を摂りました。 ↑

ついでに行きました
鉄腕ダッシュ村東京ベース。
ある大学の屋上ですが、一般の人は入れません。 ↓

